

平塚市の便利で快適なまちづくりに関する市民アンケート調査結果報告書 - 立地適正化計画策定に向けて - (概要版)

■調査目的

立地適正化計画の策定に向けた基礎資料として、以下に関する実態や意向・ニーズを把握する。

- ・ 日常的な生活サービスの利用状況や行動範囲などの実態
- ・ 平塚駅周辺を中心拠点や地域の拠点に関する意向
- ・ 住まいや防災に関する意向

■調査概要

- ・ 調査対象：市内在住の18歳以上（成年）、約3,000人（住民基本台帳より、市内7地域の人口で按分し無作為抽出）
- ・ 調査方法：郵送により配付し、記入した調査票を返送。または、二次元コードからwebで回答。広報ひらつか8月第3金曜日号にて、調査実施について周知。
- ・ 調査期間：令和4年8月22日（月）～令和4年9月5日（月）
- ・ 回収結果：配布枚数は3013票。回収数は1013票（郵送：811票 Web：202票）。
回答率は33.6%で、各地域とも概ね30%の回答を得た。

■調査項目

問1. 回答者の属性（あなた自身についておたずねします）
問2. 日常生活の実態（日常生活について）
問3. 拠点のニーズ（拠点まちづくりについて）
問4. 居住環境のニーズ（居住地域について）
問5. 防災への意識・意向（防災について）
問6. 平塚市のまちづくりへの自由意見（平塚市のまちづくりについて）

以上の調査項目のうち、主要な調査結果について、以下にまとめる。

※クロス集計の帯グラフ内に表示する割合のうち、2%未満は非表示にしている。

問1. 回答者の属性（あなた自身についておたずねします）

性別	回答数	割合
男	441	43.5%
女	557	55.0%
不明	15	1.5%

年齢	回答数	割合
18-19	10	1.0%
20-29	64	6.3%
30-39	91	9.0%
40-49	144	14.2%
50-59	162	16.0%
60-69	172	17.0%
70-	367	36.2%
不明	3	0.3%

居住地域	回答数	割合
南部地域	166	16.4%
中心地域	161	15.9%
東部地域	209	20.6%
中部地域	115	11.4%
北部地域	89	8.8%
西部地域	121	11.9%
旭地域	142	14.0%
不明	10	1.0%

職業	回答数	割合
会社員	239	23.6%
公務員(教員、団体職員などを含む)	46	4.5%
自営業(農業を含む)	55	5.4%
アルバイトやパート、契約社員	164	16.2%
家事(専業)	123	12.1%
学生	23	2.3%
無職・年金生活	332	32.8%
その他	27	2.7%
不明	4	0.4%

子供の年齢(複数回答、n=661)	回答数	割合
小学校入学前	65	9.8%
小学生	82	12.4%
中学生	59	8.9%
高校生	56	8.5%
専門学校・短大・大学・大学院生(66	10.0%
社会人	488	73.8%

住宅の種類	回答数	割合
持ち家(一戸建て)	702	69.3%
持ち家(マンション・共同住宅)	123	12.1%
借家(一戸建て)	22	2.2%
借家(マンション・共同住宅)	142	14.0%
社宅(会社の寮・宿舍など)	7	0.7%
その他	14	1.4%
不明	3	0.3%

居住歴	回答数	割合
2年未満	28	2.8%
2年以上5年未満	44	4.3%
5年以上10年未満	66	6.5%
10年以上20年未満	138	13.6%
20年以上30年未満	151	14.9%
30年以上	584	57.7%
不明	2	0.2%

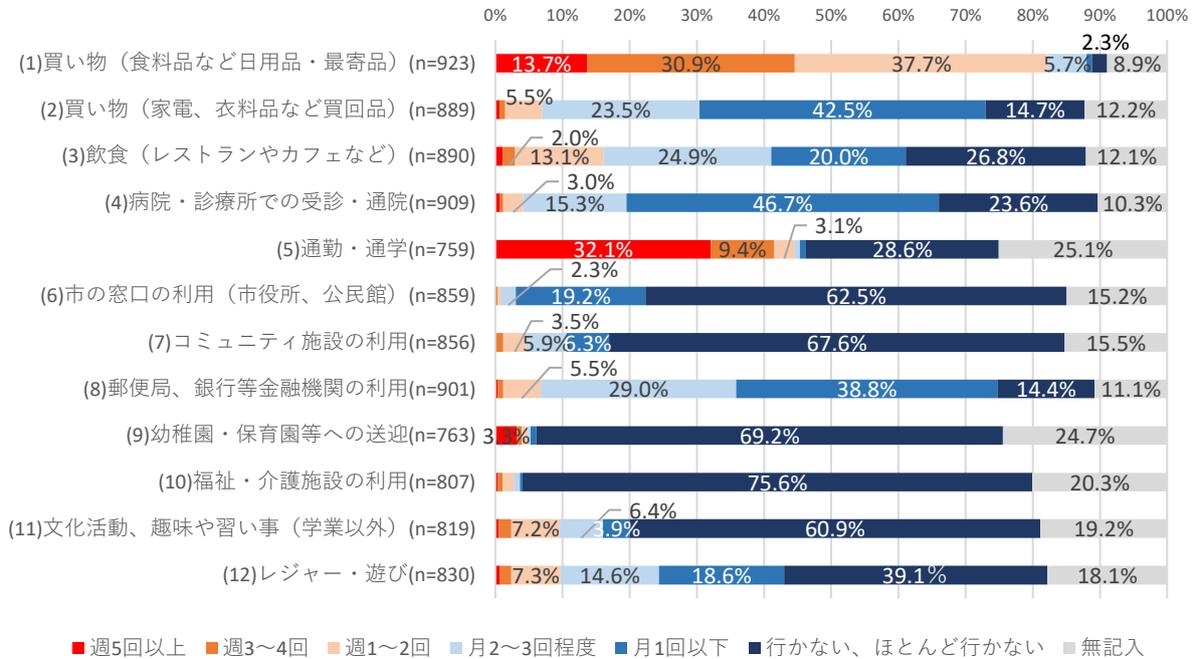
〈7 地域区分〉



問2. 日常生活の実態（日常生活について）

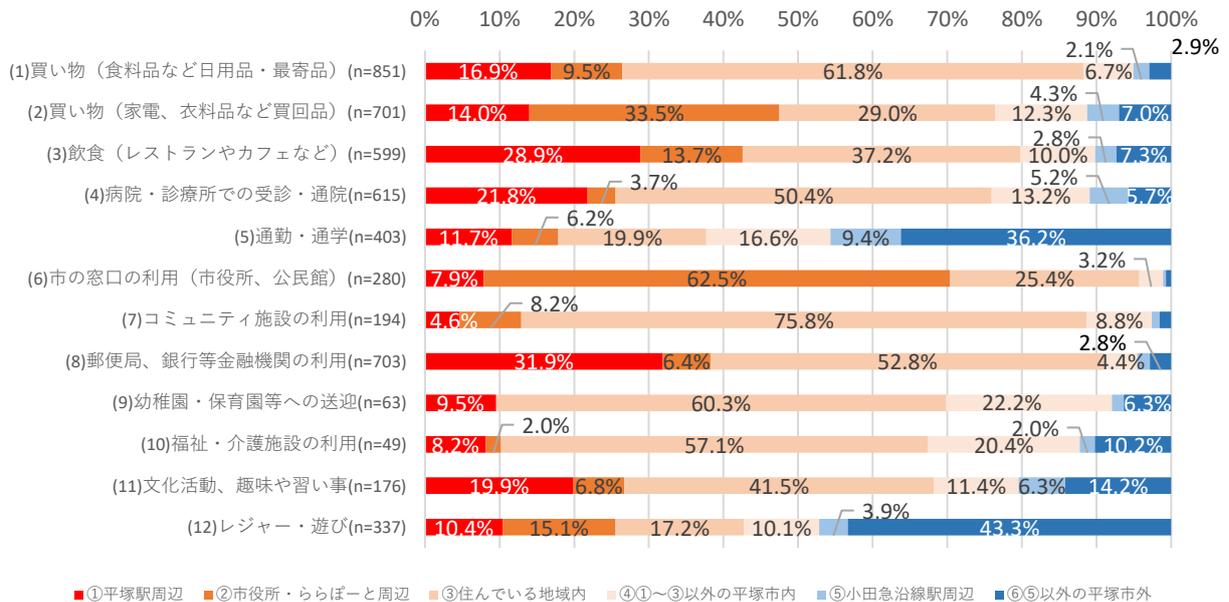
・食料品などの日用品・最寄り品の買い物は、8割程度の人が週1回以上行っている。

2-1-1 行動・施設利用の頻度



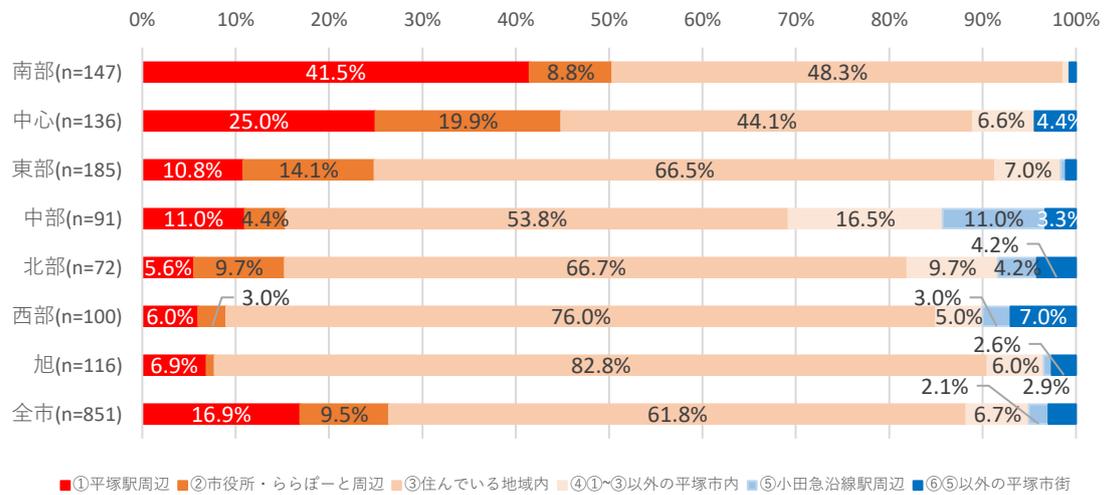
・食料品など日用品・最寄り品の買い物、通院、コミュニティ施設、金融機関や福祉・介護施設の利用は、住んでいる地域内での利用が多い。

2-1-2 行き先・目的先



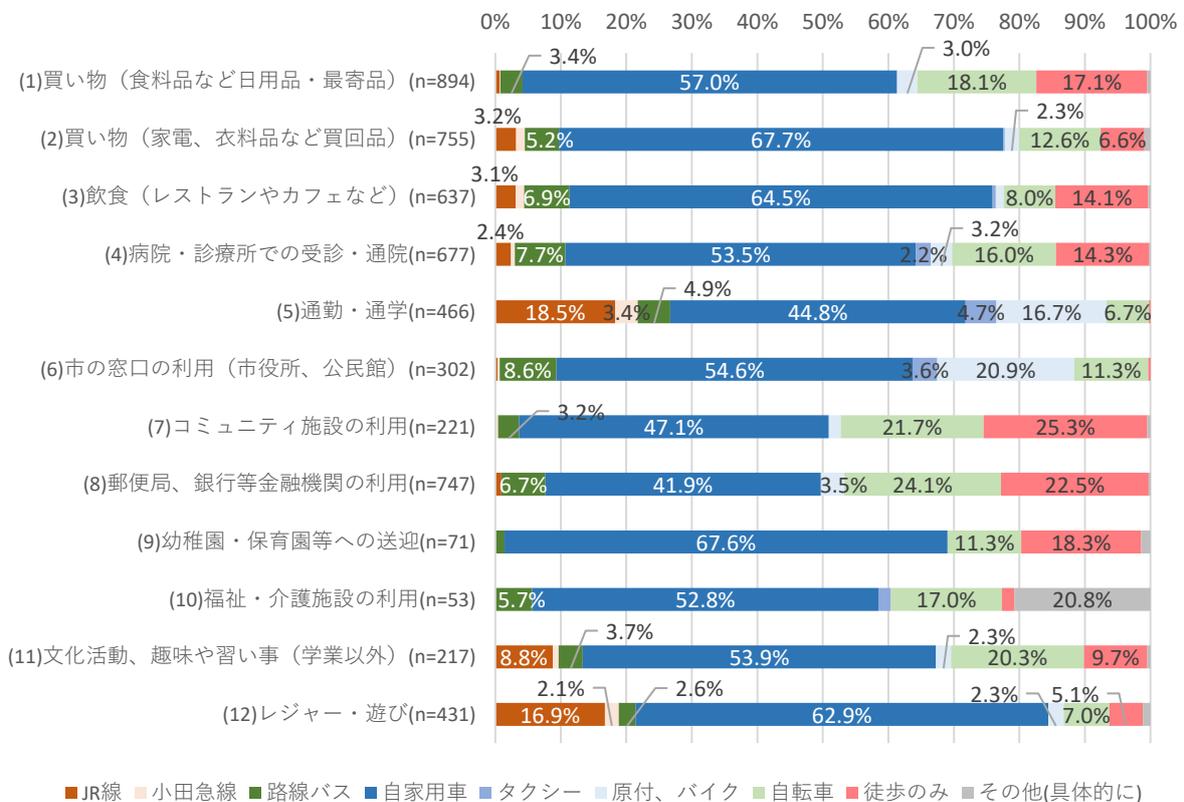
・地域別では、食料品など日用品・最寄り品の買い物時に、小田急線沿線駅周辺を利用する人は、中部地域で最も多く、地域内の1割程度が利用している。

2-1行き先・目的先（買い物：日用品）×1-3居住地域



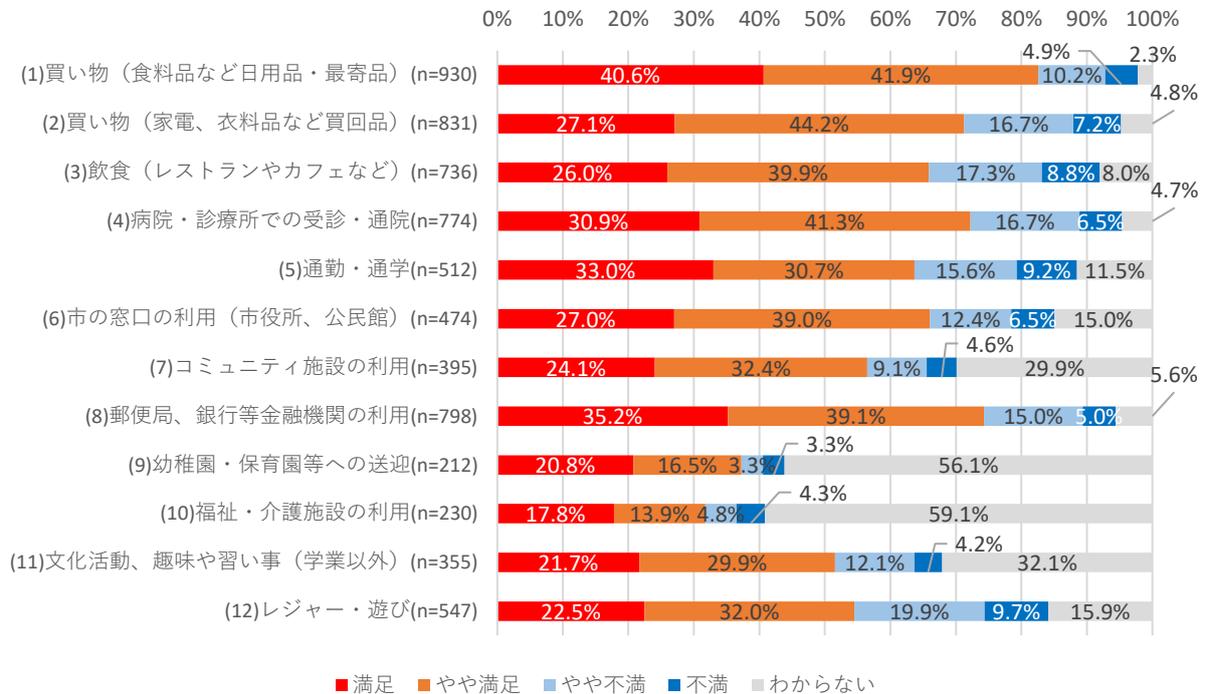
・移動手段は、全般的に自家用車が多い。食料品など日用品・最寄り品の買い物、コミュニティ施設や金融機関の利用は、徒歩や自転車が比較的多い。

2-1-3 移動手段



・交通利便性への満足度（移動手段や移動時間）は、全般的に不満の割合が低い。食料品など日用品・最寄り品の買物については、満足している人の割合が高い。

2-2-1 移動時間・手段の満足度



・日常生活において自宅周辺（徒歩圏）に欠かせない施設では、全ての地域、全ての年齢層で食料品・生活用品などの店舗が最も多い。次いで、金融機関やコンビニエンスストア、診療所や医院が多く、30代では子育て関連施設や教育施設も多い。

2-3 徒歩圏内に欠かせない施設×1-2 年齢、1-6 子育て世代

	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-歳	子育て世代	全体
食料品・生活用品などの店舗	90.0%	88.9%	93.2%	87.6%	89.0%	87.8%	82.6%	83.2%	86.7%
大型ショッピングセンター・デパート	10.0%	19.0%	17.0%	16.1%	18.2%	15.9%	11.6%	18.6%	15.0%
家電、衣料品や趣味品などの専門店	10.0%	22.2%	15.9%	10.9%	20.1%	16.5%	15.7%	18.6%	16.2%
コンビニエンスストア	90.0%	79.4%	71.6%	68.6%	74.0%	62.8%	44.3%	61.1%	60.9%
飲食店（レストラン、カフェなど）	40.0%	23.8%	25.0%	24.1%	21.4%	19.5%	17.4%	17.4%	20.7%
総合病院	10.0%	15.9%	11.4%	13.9%	15.6%	22.6%	31.6%	20.4%	21.9%
診療所、医院	10.0%	42.9%	55.7%	66.4%	66.2%	59.8%	59.1%	62.9%	59.6%
金融機関、郵便局	50.0%	66.7%	51.1%	62.0%	69.5%	66.5%	61.2%	64.7%	62.9%
幼稚園・保育園などの子育て関連施設	0.0%	9.5%	37.5%	12.4%	5.2%	6.7%	2.6%	9.6%	8.7%
小学校・中学校などの教育施設	30.0%	19.0%	43.2%	34.3%	20.1%	14.0%	4.9%	18.0%	17.8%
市役所・市民窓口センター	0.0%	7.9%	12.5%	14.6%	24.0%	17.7%	31.6%	24.0%	22.0%
公民館、集会所などのコミュニティ施設	0.0%	7.9%	2.3%	8.0%	6.5%	18.9%	22.3%	14.4%	14.1%
福祉・介護施設	0.0%	1.6%	2.3%	2.9%	1.9%	7.9%	13.0%	7.8%	7.1%
図書館	40.0%	9.5%	10.2%	10.2%	5.2%	7.3%	9.3%	7.8%	8.8%
博物館・美術館	0.0%	1.6%	2.3%	2.2%	1.9%	1.8%	2.3%	4.2%	2.1%
文化ホール、劇場	10.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.3%	3.0%	2.3%	2.4%	1.9%
スポーツ施設（体育館、運動場など）	0.0%	11.1%	3.4%	5.1%	6.5%	4.3%	4.9%	4.8%	5.3%
公園・広場	0.0%	30.2%	38.6%	32.8%	19.5%	26.2%	26.4%	27.5%	27.2%
その他	0.0%	0.0%	2.3%	1.5%	3.2%	1.2%	1.4%	3.0%	1.7%
特になし	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.9%	2.4%	7.0%	2.4%	3.6%
回答者数(n値)	10	63	88	137	154	164	345	167	962

2-3 徒歩圏内に欠かせない施設×1-3 居住地域

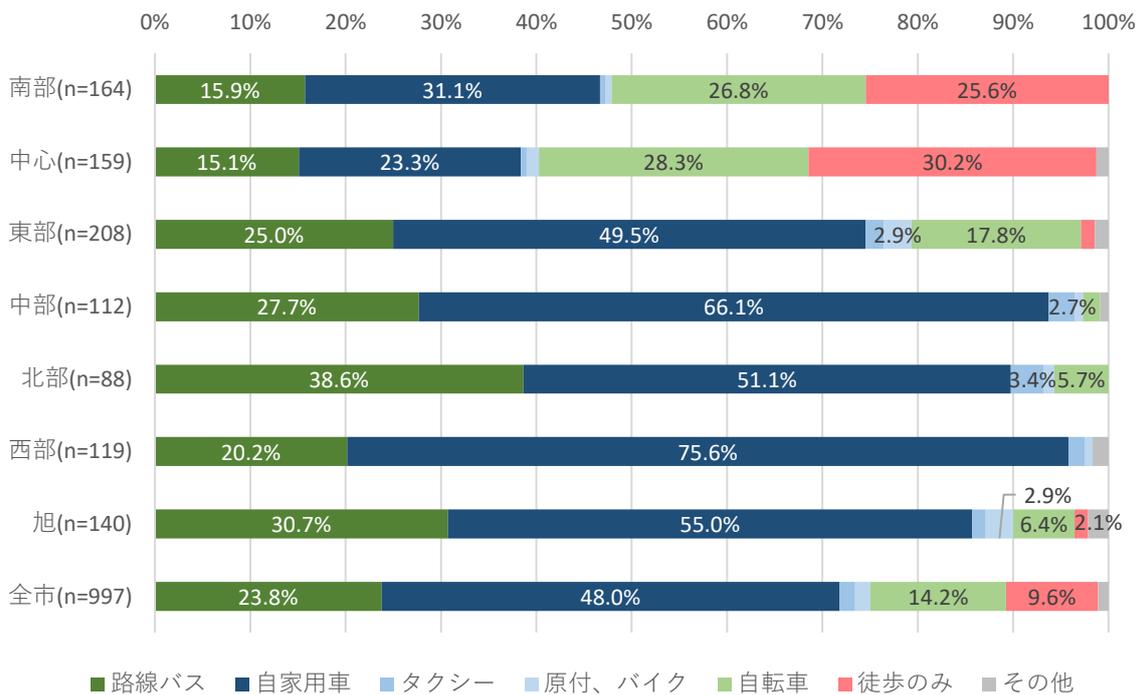
	南部地域	中心地域	東部地域	中部地域	北部地域	西部地域	旭地域	全市
食料品・生活用品などの店舗	84.9%	82.6%	85.9%	80.9%	79.8%	80.2%	82.4%	86.7%
大型ショッピングセンター・デパート	14.5%	15.5%	14.1%	12.2%	20.2%	17.4%	8.5%	15.0%
家電、衣料品や趣味品などの専門店	13.9%	14.3%	15.0%	13.0%	20.2%	15.7%	17.6%	16.2%
コンビニエンスストア	62.0%	62.1%	58.3%	57.4%	55.1%	57.0%	53.5%	60.9%
飲食店（レストラン、カフェなど）	25.3%	19.9%	19.4%	20.9%	21.3%	12.4%	18.3%	20.7%
総合病院	19.3%	20.5%	24.3%	19.1%	28.1%	14.0%	21.1%	21.9%
診療所、医院	59.6%	56.5%	52.9%	58.3%	46.1%	58.7%	65.5%	59.6%
金融機関、郵便局	60.8%	52.8%	62.6%	57.4%	56.2%	63.6%	65.5%	62.9%
幼稚園・保育園などの子育て関連施設	10.2%	6.8%	9.2%	7.8%	9.0%	10.7%	4.9%	8.7%
小学校・中学校などの教育施設	18.7%	13.7%	16.5%	21.7%	15.7%	19.0%	14.8%	17.8%
市役所・市民窓口センター	16.9%	26.1%	21.8%	16.5%	24.7%	20.7%	21.1%	22.0%
公民館、集会所などのコミュニティ施設	10.2%	8.1%	12.6%	20.9%	20.2%	14.0%	14.1%	14.1%
福祉・介護施設	6.6%	5.0%	6.3%	8.7%	5.6%	5.8%	9.9%	7.1%
図書館	10.8%	7.5%	6.8%	3.5%	7.9%	10.7%	12.0%	8.8%
博物館・美術館	3.0%	3.1%	1.9%	0.9%	1.1%	0.8%	1.4%	2.1%
文化ホール、劇場	0.6%	2.5%	2.4%	0.0%	2.2%	3.3%	0.0%	1.9%
スポーツ施設（体育館、運動場など）	6.0%	5.6%	5.8%	7.0%	3.4%	1.7%	4.2%	5.3%
公園・広場	26.5%	28.6%	28.6%	20.9%	18.0%	27.3%	26.1%	27.2%
その他	1.2%	1.2%	1.0%	1.7%	0.0%	3.3%	2.1%	1.7%
特になし	1.8%	5.6%	2.9%	2.6%	4.5%	2.5%	3.5%	3.6%
回答者数(n値)	166	161	206	115	89	121	142	962

問3. 拠点のニーズ（拠点まちづくりについて）

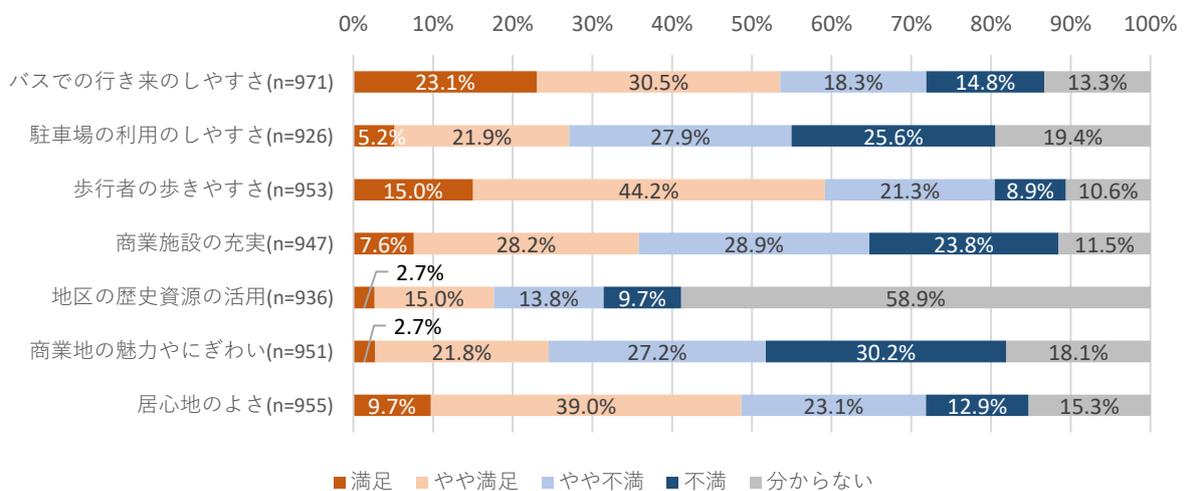
●平塚駅周辺について

- ・平塚駅周辺への交通手段は、全市では、自家用車が約半数を占めており、駐車場の利用しやすさに不満がある人の割合が高い。路線バスの利用は4分の1程度であり、バスでの行き来のしやすさは満足している人の割合が高い。
- ・地域別でみると、中部地域、北部地域、西部地域、旭地域の自家用車の利用が多く、南部地域と中心地域は自転車や徒歩が多い。

3-1-1 駅周辺への交通手段×1-3居住地域

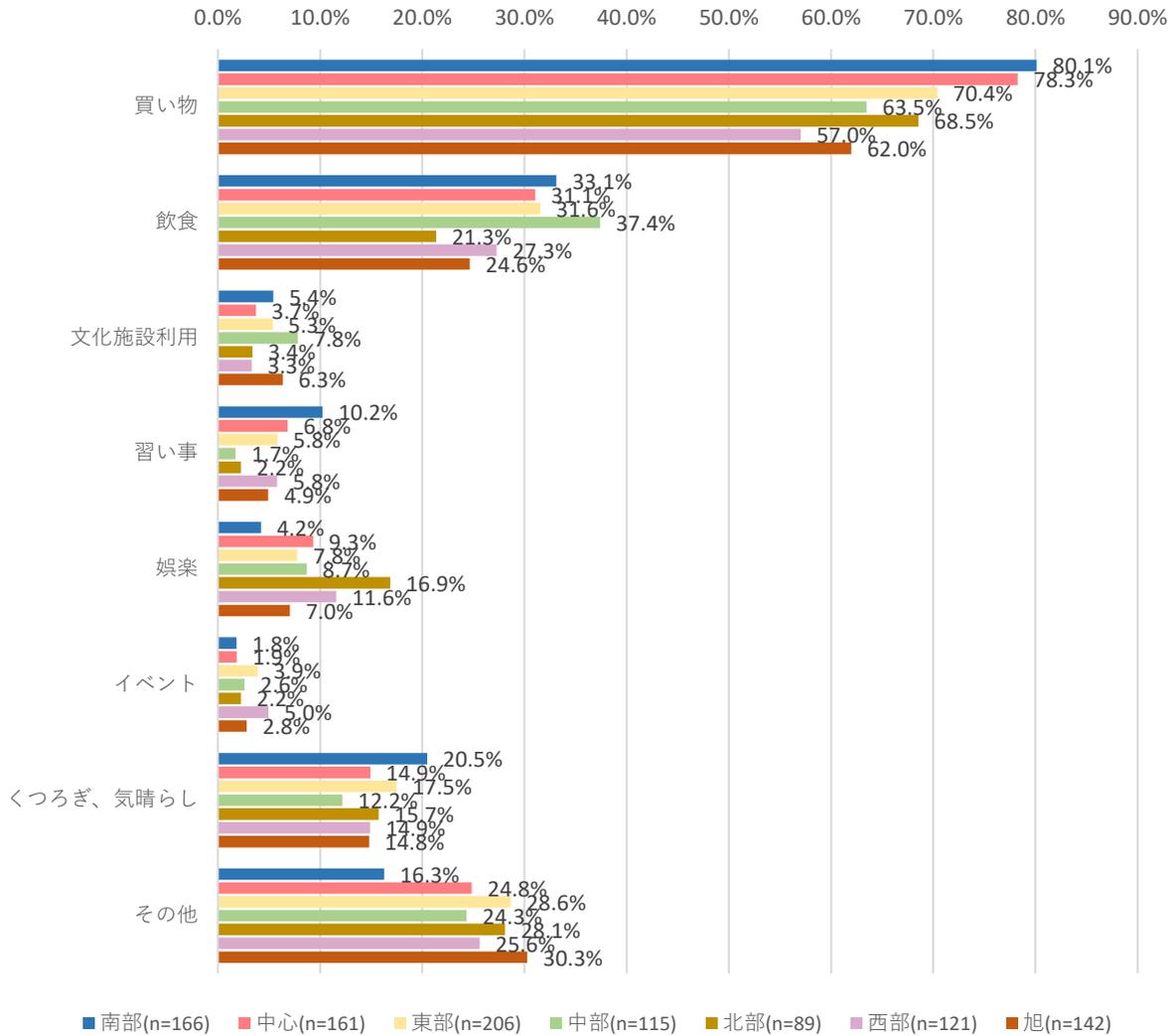


3-2 駅周辺項目別満足度

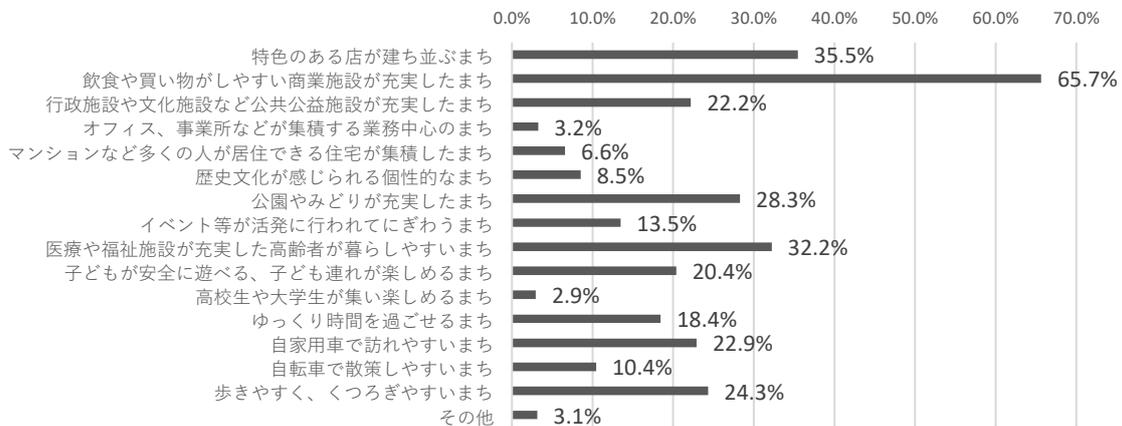


・いずれの地域も買物での駅周辺利用が多く、望ましい中心拠点の姿として「飲食や買い物がしやすい商業施設が充実したまち」と答えている人が最も多い。次いで、特色のある店や医療・福祉施設、公園や緑の充実が望まれている。

3-1-3平塚駅へ行く理由×1-3居住地域



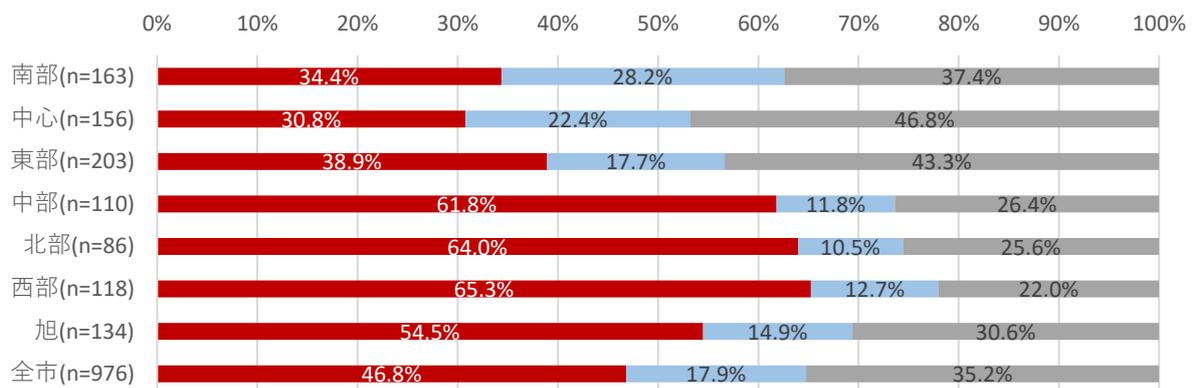
3-3 中心拠点として望ましい駅周辺の姿（複数回答,n=990）



●平塚駅周辺以外の拠点について

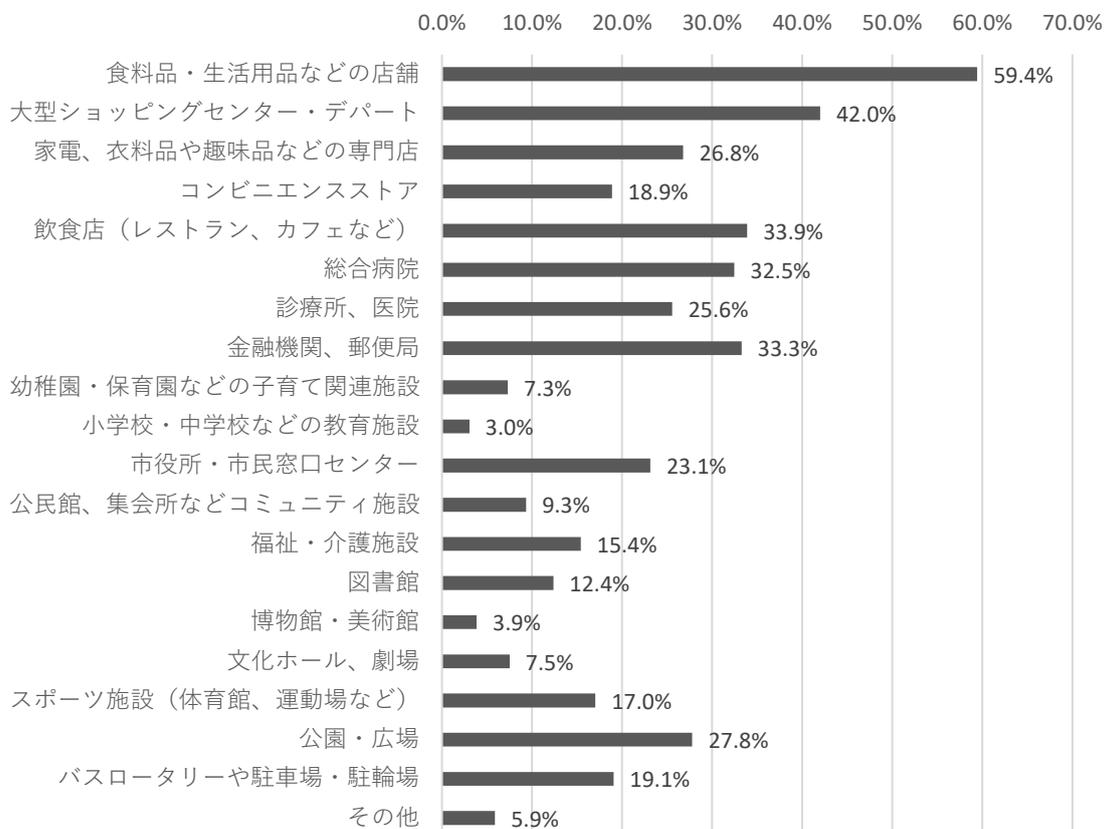
- ・平塚駅周辺以外で、住んでいる地域内または地域周辺で拠点となるエリアの必要性については、必要という回答が多い。地域別では、中部地域、北部地域、西部地域、旭地域は、居住地周辺で拠点となるエリアが必要という回答が多い。
- ・平塚駅周辺以外の拠点に充実すべき機能として「食料品・生活用品などの店舗」が最も多い。

3-4 中心拠点以外の拠点の必要性 × 1-3 居住地域



■ 住んでいる地域内または地域周辺で拠点となるエリアが必要 ■ 平塚駅周辺以外に拠点は必要ない ■ わからない

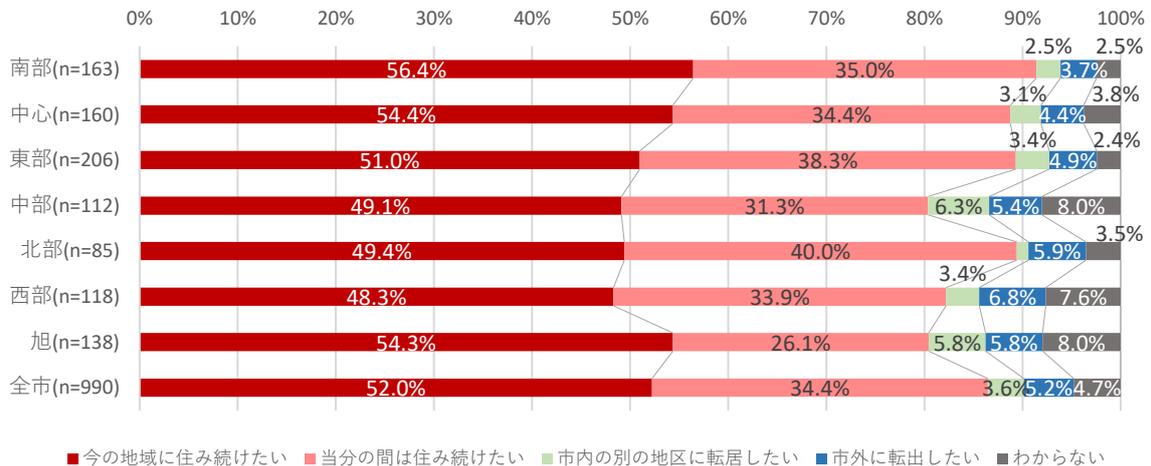
3-6 地域拠点で充実すべき機能（複数回答,n=493）



問4. 居住環境のニーズ（居住地域について）

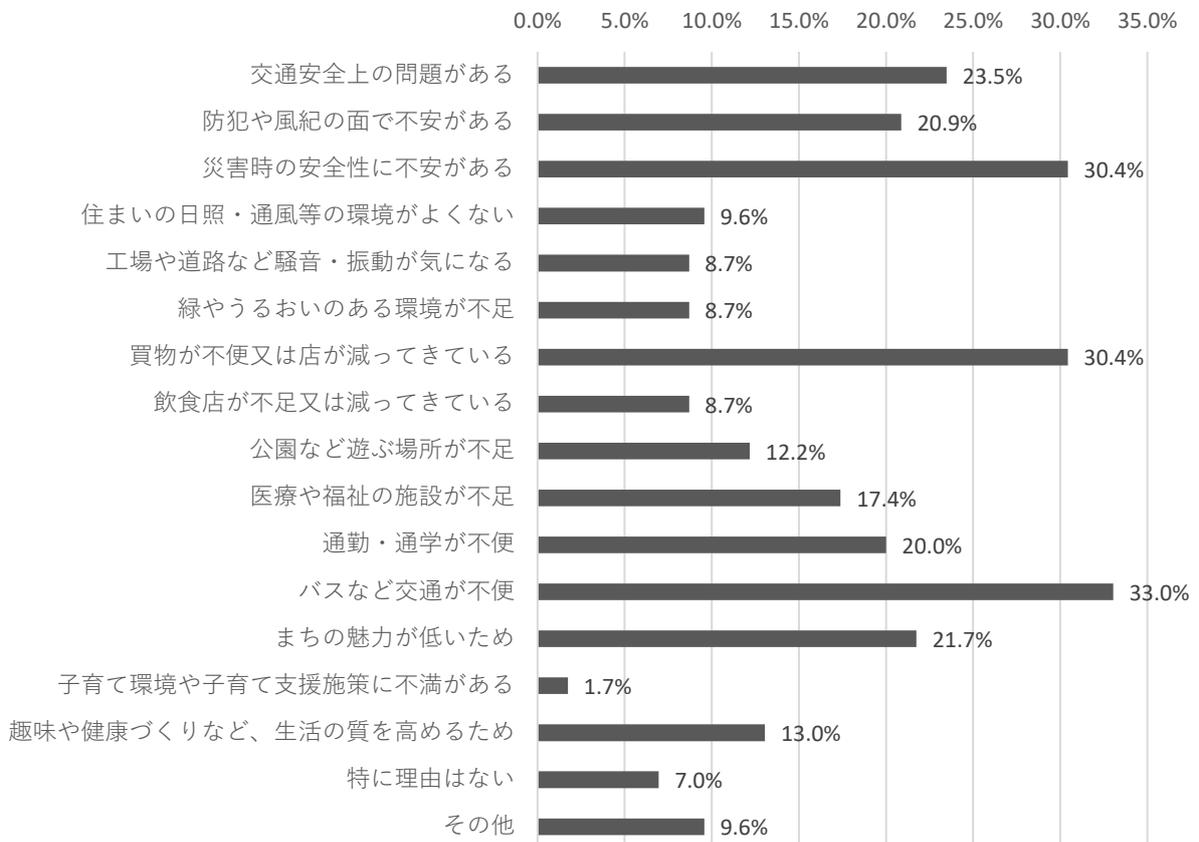
・いずれの地域も、居住地域に住み続けたい人が8～9割程度を占めており、転居や転出の意向は少ない。

4-1 居住地域に住み続けたいか×1-3居住地域



・転居や転出をしたい人の理由は、バスなどの交通や買物の不便、災害時の安全性への不安が多い。

4-2 転出転居したい理由（複数回答,n=115）



・住み続けるために重要なことは、防災対策、生活道路の安全、歩きやすい道路環境が多く、特に30代までの若い年齢層や子育て世代で多く選ばれている。60歳以上の高齢者層では、日常的な買物の店舗や医療・福祉施設が比較的多く選ばれている。

4-3 平塚市で住み続けるために必要なこと×1-2 年齢,1-6 子育て世代

	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳-	子育て世代	全体
建物の安全性、避難場所の強化など防災対策	80.0%	70.3%	72.5%	47.2%	52.2%	44.1%	36.6%	53.8%	48.1%
生活道路の安全対策（自動車の通過交通の進入抑制、速度制限など）	70.0%	60.9%	58.2%	45.8%	43.9%	26.5%	18.9%	38.6%	35.0%
歩きやすい、歩きたくなる道路環境	70.0%	64.1%	65.9%	53.5%	40.1%	34.1%	26.2%	41.5%	40.5%
街路樹や庭木など身近な緑の保全	10.0%	6.3%	3.3%	5.6%	3.8%	7.1%	8.7%	2.9%	6.5%
身近な公園や広場	0%	3.1%	3.3%	8.3%	7.0%	10.6%	11.9%	4.1%	8.8%
ゆとりのある住環境の形成（隣棟間隔の確保、建物の高さ制限、敷地の細分化防止など）	0%	7.8%	1.1%	7.6%	5.1%	7.1%	8.1%	3.5%	6.5%
統一感や落ち着いた感じられるまちなみの形成	10.0%	1.6%	1.1%	2.8%	2.5%	5.9%	3.2%	2.9%	3.3%
日常生活に必要な買物のための店舗	20.0%	9.4%	19.8%	28.5%	35.7%	41.2%	43.0%	31.0%	34.8%
バスなどの公共交通の利便性	20.0%	25.0%	17.6%	28.5%	26.8%	29.4%	32.3%	26.9%	28.4%
医療や福祉施設	0%	6.3%	16.5%	25.0%	33.8%	35.9%	41.0%	33.3%	31.6%
教育・文化施設	0%	1.6%	1.1%	2.8%	1.9%	1.2%	1.2%	2.9%	1.5%
空き家や空き地の有効活用	0%	9.4%	3.3%	11.8%	5.7%	10.0%	8.7%	4.1%	8.5%
山林や農地の無秩序な開発の抑制	0%	0%	0%	1.4%	1.3%	2.9%	4.4%	0.6%	2.4%
農業の振興や身近な農地の活用	0%	0%	0%	3.5%	0.6%	4.7%	3.8%	1.8%	2.8%
工場など働く場づくり、工業の振興	0%	4.7%	2.2%	2.8%	2.5%	2.9%	1.7%	1.2%	2.4%
温暖化対策のための環境に配慮した取組み	0%	3.1%	1.1%	3.5%	1.9%	7.6%	8.7%	5.3%	5.5%
子どもの健やかな成長に向けた教育環境・子育て支援	10.0%	12.5%	17.6%	12.5%	10.2%	10.6%	8.4%	11.1%	10.8%
健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設	10.0%	1.6%	5.5%	2.1%	5.1%	10.0%	8.4%	6.4%	6.5%
地域住民の交流やコミュニティ活動の拠点となる施設	0%	1.6%	1.1%	3.5%	5.7%	6.5%	8.7%	5.3%	5.8%
歴史・文化的に価値があるまちの資産（活動や建物など）の保存・活用	0%	0%	0%	1.4%	0%	2.4%	2.6%	1.8%	1.5%
その他	0%	0%	1.1%	1.4%	4.5%	1.8%	1.7%	1.8%	1.9%
回答者数(n値)	10	64	91	144	157	170	344	171	980

・地域別では、旭地域、西部地域、中心地域、東部地域、南部地域では防災対策が重要という回答が最も多いのに対して、北部地域では医療や福祉施設が重要、中部地域では日常的な買物の店舗が重要という回答が最も多い。

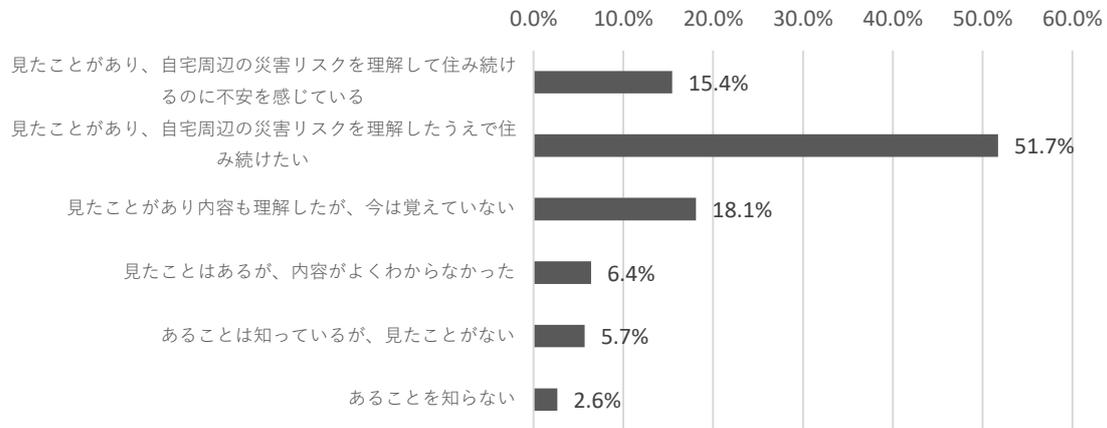
4-3 平塚市で住み続けるために必要なこと×1-3 居住地域

	南部地域	中心地域	東部地域	中部地域	北部地域	西部地域	旭地域	全市
建物の安全性、避難場所の強化など防災対策	52.4%	55.6%	50.5%	40.9%	38.8%	48.3%	41.5%	48.1%
生活道路の安全対策（自動車の通過交通の進入抑制、速度制限など）	32.3%	31.3%	44.1%	33.6%	31.8%	36.2%	33.3%	35.0%
歩きやすい、歩きたくなる道路環境	35.4%	45.0%	46.5%	40.0%	38.8%	36.2%	37.8%	40.5%
街路樹や庭木など身近な緑の保全	8.5%	8.8%	6.4%	4.5%	4.7%	3.4%	5.9%	6.5%
身近な公園や広場	6.1%	8.1%	7.9%	12.7%	7.1%	7.8%	13.3%	8.8%
ゆとりのある住環境の形成（隣棟間隔の確保、建物の高さ制限、敷地の細分化防止など）	13.4%	9.4%	5.0%	4.5%	9.4%	0%	3.0%	6.5%
統一感や落ち着いた感じられるまちなみの形成	6.1%	6.9%	1.0%	0.9%	2.4%	1.7%	3.0%	3.3%
日常生活に必要な買物のための店舗	30.5%	32.5%	30.7%	43.6%	43.5%	35.3%	35.6%	34.8%
バスなどの公共交通の利便性	23.2%	17.5%	24.3%	40.0%	29.4%	38.8%	34.1%	28.4%
医療や福祉施設	32.9%	27.5%	30.2%	29.1%	47.1%	30.2%	30.4%	31.6%
教育・文化施設	0.6%	2.5%	1.5%	1.8%	0%	0.9%	2.2%	1.5%
空き家や空き地の有効活用	9.1%	10.6%	7.4%	3.6%	9.4%	9.5%	8.9%	8.5%
山林や農地の無秩序な開発の抑制	2.4%	0.6%	2.5%	2.7%	2.4%	6.9%	0.7%	2.4%
農業の振興や身近な農地の活用	1.8%	1.3%	2.0%	6.4%	4.7%	1.7%	3.7%	2.8%
工場など働く場づくり、工業の振興	2.4%	2.5%	4.0%	0.9%	1.2%	3.4%	1.5%	2.4%
温暖化対策のための環境に配慮した取組み	4.3%	5.6%	6.4%	5.5%	8.2%	3.4%	5.2%	5.5%
子どもの健やかな成長に向けた教育環境・子育て支援	13.4%	10.6%	7.4%	5.5%	14.1%	12.1%	14.1%	10.8%
健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設	6.7%	6.9%	5.4%	8.2%	7.1%	8.6%	4.4%	6.5%
地域住民の交流やコミュニティ活動の拠点となる施設	6.1%	7.5%	5.9%	1.8%	5.9%	4.3%	8.1%	5.8%
歴史・文化的に価値があるまちの資産（活動や建物など）の保存・活用	0.6%	1.3%	2.0%	0%	3.5%	2.6%	1.5%	1.5%
その他	2.4%	1.9%	1.0%	2.7%	0%	3.4%	2.2%	1.9%
回答者数(n値)	164	160	202	110	85	116	135	980

問5. 防災への意識・意向（防災について）

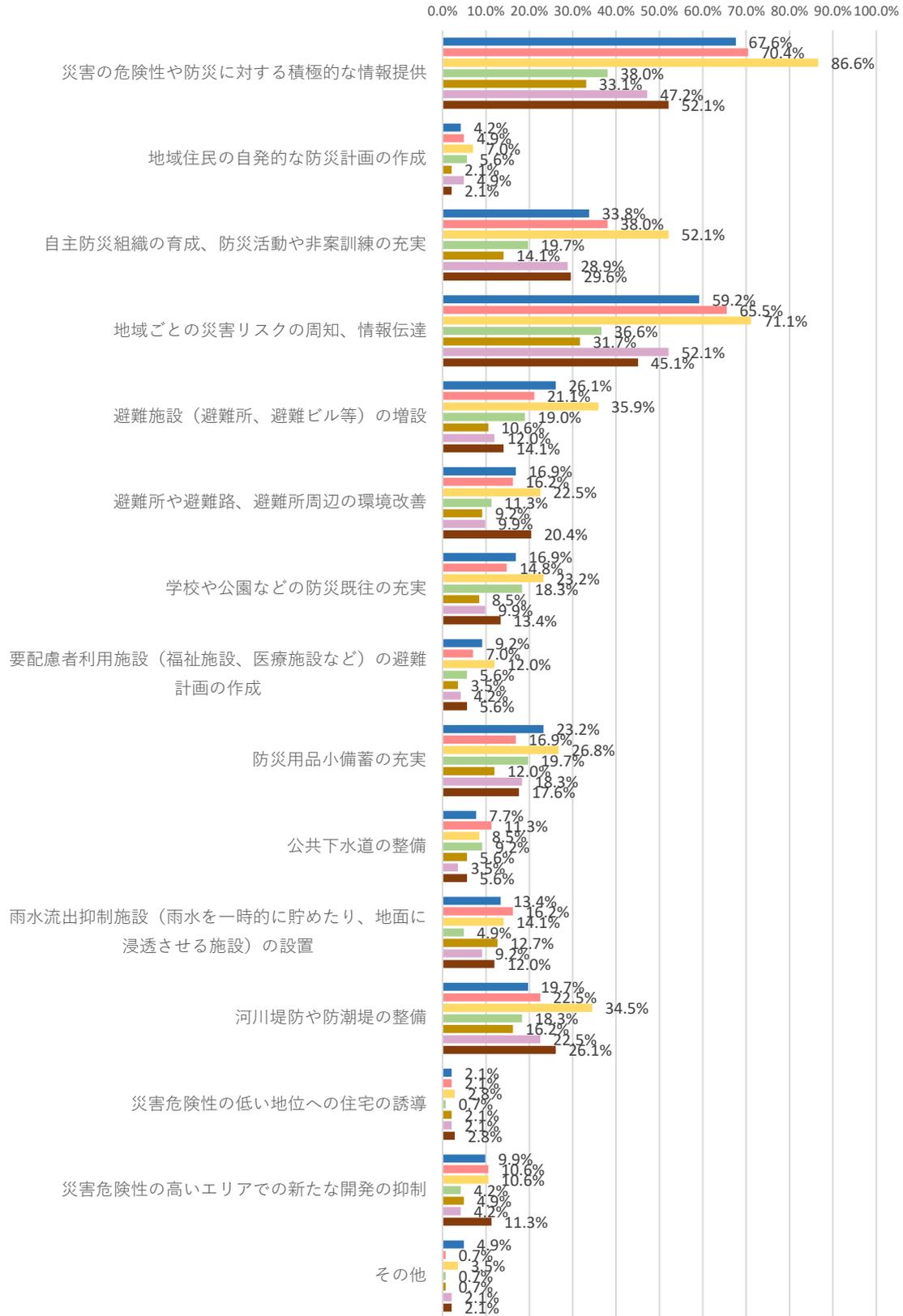
・全般的に、災害リスクを理解したうえで住み続けたいという回答が多い。

5-2 ハザードマップの理解度 (n=984)



・防災対策の内容については、いずれの地域も、災害の危険性や防災に対する積極的な情報提供や、地域ごとの災害リスクの周知、情報伝達など、ソフト対策を必要とする回答が多い。

5-3平塚市で必要だと思う防災対策×1-3居住地域



■ 南部地域(n=166) ■ 中心地域(n=161) ■ 東部地域(n=206) ■ 中部地域(n=115)
 ■ 北部地域(n=89) ■ 西部地域(n=121) ■ 旭地域(n=142)

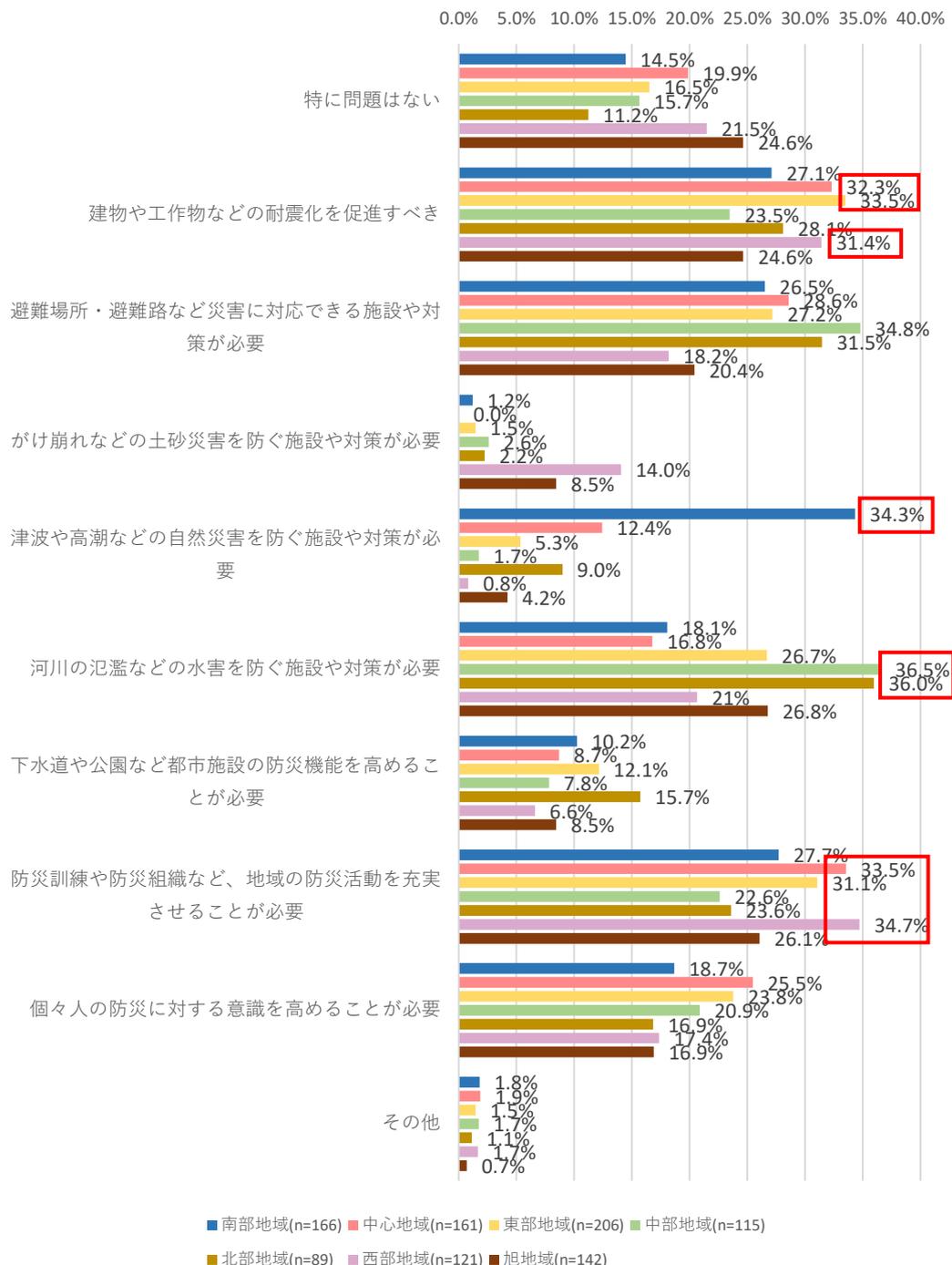
・その他、必要な防災対策は、地域ごとの災害リスクと関連して異なる傾向がある。

北部・中部・旭地域：河川氾濫等の浸水想定区域が広いため、水害や避難対策を必要とする回答が多い。

南部地域：津波や高潮による浸水想定区域があるため、津波や高潮の対策を必要とする回答が多い。

東部・中心・西部地域：建物等の耐震化や防災活動を必要とする回答が多い。

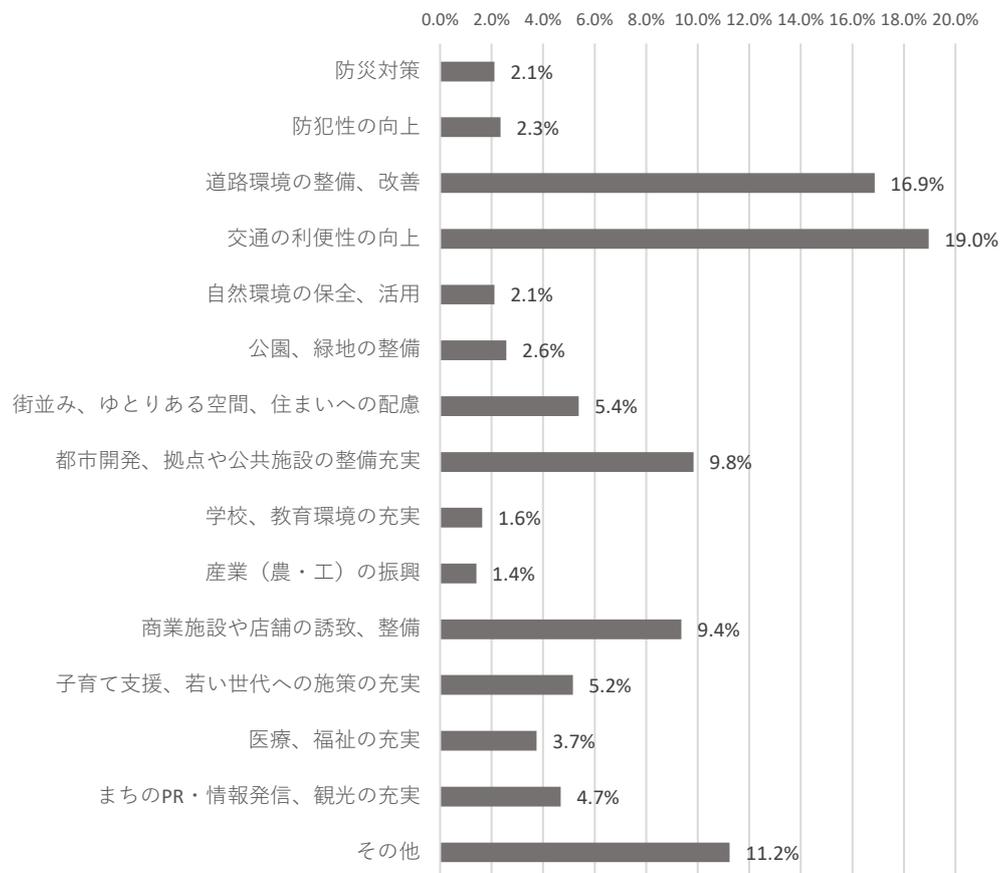
5-1 居住地域の防災対策について思うこと×1-3居住地域



問 6. 平塚市のまちづくりへの自由意見（平塚市のまちづくりについて）

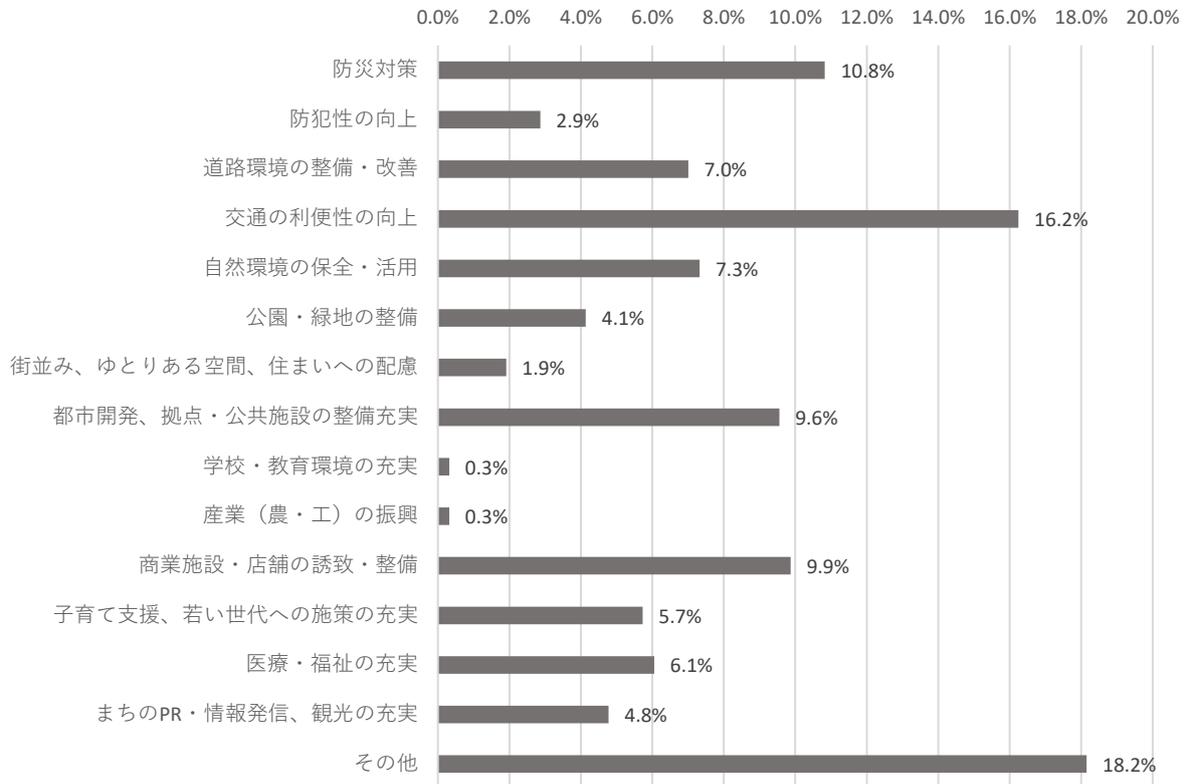
- ・平塚市が魅力あるまちとなるために取り組むべきこととして、「交通利便性の向上」（19%）が最も多く、「道路環境の整備、改善」（16.9%）と合わせて、道路交通に対する改善を要する意見が多かった。
- ・次いで、「都市開発、拠点や公共施設の整備充実」（9.8%）、「商業施設や店舗の誘致、整備」（9.4%）が多かった。

6-1 平塚市が魅力あるまちとなるために取り組むべきこと(n=427)



- ・今後の平塚市のまちづくりに関する意見としては、6-1と同様に、「交通の利便性の向上」(16.2%)が最も多い。
- ・次いで、「防災対策」(10.8%)、「商業施設・店舗の誘致・整備」(9.9%)「都市開発、拠点・公共施設の整備充実」(9.6%)が多い。

6-2 今後の平塚市のまちづくりに関する意見(n=314)



まとめ

本調査では、立地適正化計画の策定に向けた基礎資料として、日常的な利用サービス・生活圏域の実態や、中心・地域の拠点に関する意向、居住環境や防災に関する意向などを把握した。

各設問の結果概要をまとめる（概要版に記載していない集計結果についても含めている）。

1. 回答者の属性からみる本アンケートの特性について（問1）

- 高齢者や子育てを終えた世代が多く回答しており、単純集計結果や意見はやや高齢者に寄った結果となっている。また、回答者には長く住み続けている人が多い。

2. 日常生活の実態と拠点のニーズについて（問2、問3）

- 日常的に必要な性が高い食料品や日用品の買物や、金融機関、通院、福祉・介護施設、コミュニティ施設の利用は、住んでいる地域内で比較的多く行われている傾向があり、住んでいる地域内または地域周辺での拠点（以下「身近な拠点」という）のニーズがある。
- 日常生活における移動手段は、全般的に自家用車が多いが、南部地域・中心地域では徒歩や自転車利用も多く、徒歩・自転車圏としての実態があると言える。
- 平塚駅周辺に週1～2回以上行く頻度は、中部地域、北部地域、西部地域、旭地域では低く、身近な拠点のニーズが高いと考えられる。それに対して、中心地域、南部地域、東部地域では、平塚駅周辺に行く頻度が比較的高く、身近な拠点のニーズは比較的低いと考えられる。
- 平塚駅周辺への移動は自家用車の利用が多く、駐車場の利用しやすさの満足度が低い一方、バスでの行き来のしやすさは満足度が高く、公共交通軸として一定の評価がされている。
- 拠点に必要な機能は、平塚駅周辺の拠点、身近な拠点のいずれも商業施設のニーズが高い。平塚駅周辺では、医療・福祉や公園・緑の充実のニーズも高い。

3. 住み続けたい居住環境について（問4）

- いずれの地域でも、居住地域に住み続けたい人が多く、転居転出の意向は少ない。
- 一方、転居転出を検討している人の理由は、買い物の利便性の他、交通や災害安全性への不満が挙げられており、住み続けるまちに向けた課題といえる。
- 住み続けるために重要なこととしても、災害対策や生活道路の安全性や、歩きやすい道路環境が多い。60代以上の高齢者層では、日常的な買い物の店舗と医療福祉施設も比較的多い。
- 地域別に見ると、南部・中心・東部・西部・旭地域では防災対策が、北部地域では医療福祉施設が、中部地域では日常的な買い物の店舗が最も多く、災害リスクや都市機能分布状況の違いにより、ニーズの地域差が出たと考えられる。

4. 防災への意識、必要な防災対策について（問5）

- 災害リスクを理解した上で、住み続けたいという人が多い。
- 必要な防災対策は、いずれの地域でも、災害危険性や防災に関する情報伝達、災害リスクの周知などソフトの対策が多いが、地域ごとの災害リスクと関連して、北部・中部・旭地域では水害対策や避難施設、南部地域では津波や高潮の対策、東部・中心・西部地域では建物の耐震化等や防災活動などのニーズの違いが見られた。